



159号

6月議会定例会号

あなたと議会を結ぶ情報誌 議会だより <https://www.town.kanegasaki.iwate.jp/gikai/>

かねがさき

住民目線に立って

ありのままに
わかりやすく
議員の力で
スピード発行

なぎ と
凧音さん

さき と
咲音さん

施政方針 ここが聞きたい

新町長に 議員が斬りこむ

最終報告を取りまとめ

議員報酬等検討特別委員会



—— 2026 ——

令和8年7月16日発行
岩手県金ケ崎町議会



対話型 町政 を 推進

就任初年度

4月臨時会

補正予算

移動販売事業者を対象とする車両購入等にかかる補助金です。

500万円

移動販売車導入支援事業補助金



旧校舎の解体費用です。旧体育館は残します。

3713万円

旧二ツ森小学校解体工事



発達の見逃しを防ぎ、子どもと家庭を早期に支えるための重要な健診です。

5歳児健康診査事業



監査委員

千田 眞一 さん

(議会選出：新任)

任期：令和8年5月1日～
令和10年2月29日

人事案件に同意

施政方針 ここが聞きたい

Q 固定資産税の引き下げや保育料の完全無償化などに要する財源は、どう確保するのか。
A 財源確保のため、行財政改革の計画をしっかりと立てて行政運営をしていく。

財源確保



阿部 一之 議員

Q 現在の町内企業は男性型の企業が多いため、新しい工業団地には、女性が働きやすい企業を誘致するべきでは。
A 製造業中心となれば男性型となる可能性もあるが、女性向けの企業のリサーチを行いながら企業誘致を進めていく。

女性向け企業誘致



及川 権一 議員

Q 農地基盤整備未実施地区に対する推進は。
A 実施・計画地区の完成が最優先となるが、例えば担当課に圃場整備推進官を置くなどして、それぞれの地区の実情に沿った伴走型の推進も検討していく。

農地基盤整備の推進



榊 秋光 議員

Q 金ヶ崎駅西口開発のイメージは。
A 金ヶ崎駅から高速道路までの間をイメージしている。開発手法は、大手デベロッパーや土地区画整備組合を作ったの開発など、さまざまな方法が考えられる。

金ヶ崎駅西口開発



阿部 隆一 議員

3月1日に行われた金ヶ崎町長選挙で高橋文浩氏が初当選し、3月19日に町長に就任しました。

新リーダーとなった高橋町長に、町の未来に向けた考えや取り組みについて、所見を伺いました。



町民と歩む町政に期待

次期町総合計画

今後の町政運営の指針となる次期総合計画を本年度策定し、将来像を見据えながら施策を着実に実行していきます。

産業振興

東北有数の産産力があり、企業の安定した生産活動を支援し、新たな雇用の場を創出するとともに、農業や商業、脈々と受け継がれた英知が響き合い、挑戦する人を町全体で支える土壌を育んでいきます。働く喜びが暮らしの豊かさに直結し、外からと内からの力が相互に作用しながら新たな価値が生まれる「持続可能な産産のまち」を築いていきます。

子育て支援

経済的負担軽減と定住促進策として実施してきた小中学校給食費の無償化について、本年度から国による小学生を対象とした給食費負担軽減が開始されますが、基準額を超える差額分と中学生の給食費は、引き続き町独自で無償化を実施します。また、新たな支援策として保育料の完全無償化にも取り組めます。

地域公共交通

本年度から新たに移動販売車導入支援事業補助金を創設し、買い物環境の確保と利便性向上に取り組めます。住環境については、宅地開発指導要綱等に基づき、宅地開発事業者との連携による良好な都市環境整備を進めます。町の将来を見据えた道路整備に向け、都市計画道路大平前野線の測量調査設計などを実施し、民間活力による宅地開発の誘導を図ります。



議会だより
かねがさき
No.159

目次

表紙

135号カムバック

高橋 風音さん・咲音さん

2～3

新町長施政方針

ここが聞きたい

監査委員に千田眞一議員

4～5

議員報酬等検討

特別委員会

最終報告を取りまとめ

6～7

農業委員20人任命同意

議案審議

副町長人事案件に同意

8～17

一般質問 9名登壇

18

所管事務調査

請願のゆくえ

19

ちょっと一服

議会クロスワードパズル

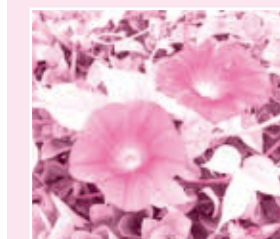
20

ぴかっとひかる人

シリーズ89

四つ葉のクローバーの会 さん

(永岡地区)



農こそ生命 3月10日、岩手県立農業大学校の卒業式が行われ議長が出席しました。戦前は県立六原青年道場として農業青年の育成に取り組む、現在に至っています。そういえば同農場で生産された「六原牛乳」、今では知る人も少なくなりました。現在の農業大学校は全寮制。男子は「敬明寮」(全寮制)、女子は「清和寮」(2人部屋)、学生による自治会で運営されています。農を志す若者たちガンバレ!! (雅)

心豊かだった時代 2月21日、ミケ尻基稲穂保存会農業賞受賞等の祝賀会が永岡温泉で開かれました。この基稲穂は、厳しい農村生活の中にも楽しいことがなければと手踊師匠の鈴木清四郎が始めたといわれています。この踊りが踊られるのは、結婚式、孫抱き、建前祝、新築祝や田植え後のマンガア、秋の収穫後のニワバシなどの祝事で宴だけになったときにとされています。読者の皆さんもぜひ動画でどうぞ。「さっとさっとさ」がかけ声です。(雅)

1年3か月の議論を経て

最終報告書の要旨



議会運営の最高規範として、議会基本条例を制定することが必要であると判断しました。議会・議員の活動原則、町民及び町長等との関係、自由討議や議会活性化の推進、継続的な検証の仕組みを、全8章20条の条例として体系化するものです。とりわけ、議員報酬の妥当性を任期中に検証することを条例に位置づけ、報酬が再び長期にわたり見直されない状態とならないよう、制度的な基盤を整えます。

平成15年に引き下げられて以降、岩手県最低賃金は約70%、国家公務員初任給は約35%上昇する一方、本町議員報酬は据え置かれたままでした。今回の改定は、単なる待遇改善を目的とするのではなく、長期にわたる据え置きにより生じた乖離を、活動実態に基づき是正するものです。

議員定数は、現行の16人を維持する結論になりました。その根拠として、町内6地区の声を届けるために必要な規模であること、2常任委員会（総務教育民生・産業建設）の安定運営に必要な人数であること、既に20年余りで3回・合計6人の削減を実施済みであり、削減実績があることなどであり、他に直近5回の選挙における立候補超過数の少なさなど、なり手確保の観点や、削減による財政効果の限定性などを総合的に判断いたしました。

なお本委員会は、報酬は議員活動に見合う水準を、定数は議会機能を維持するに足る人数を、それぞれ独立の基準で判断し、報酬の増額と定数の削減を引き換えに考えることはしておりません。この考え方は、全国議長会決議（令和6年5月22日）の留意事項とも一致しております。

理念

実践

均衡

議会基本条例の制定

議員報酬の見直し

議員定数の維持

金ケ崎町議会議員報酬等検討特別委員会（委員長 佐藤千幸）は、令和7年3月21日の設置以来、約1年3か月にわたり議論を重ねてきました。その間、先進地視察や住民との意見交換会を経て、最終報告書を取りまとめるに至りました。

このたび、本報告書を町長へ提出し、特別職報酬等審議会への諮問を要請しました。



なぜ今、見直したのか

金ケ崎町議会議員の報酬は、平成15年に引き下げられて以降、23年間一度も見直されていませんでした。その間、世の中は大きく変わり、最低賃金や初任給の上昇、物価や光熱費、子育てや介護にかかる費用も上がり続けたにもかかわらず、議員報酬212,000円だけが据え置かれてきました。

加えて、議員のなり手不足は年々深刻化してきており、直近の選挙では立候補者が定数をわずかに下回るにどまっています。議員の現平均年齢は68.6歳と、現役世代等の参画が進んでおりません。議員報酬だけでは生計を立てることが難しく、他に生活の糧を持つ人でなければ議員を続けるにいく状況が続くと、現役世代・女性・若年層の声が懸念されます。

金ケ崎町議会議員報酬等検討特別委員会は、こうした現状を直視し、議会の姿を根本から問い直す必要があると判断いたしました。本委員会では、報酬だけを切り離して論じるのではなく、議会運営の最高規範である「議会基本条例」の制定、議員報酬の適正化、議会の機能を維持するための議員定数のあり方の3つについて、一体のものとして検討してきました。議員報酬の見直しは、この3つの取組みの一つであり、これからの金ケ崎町にとって、どのような議会が必要かを考える営みの一部であります。

審議会への諮問

町長へ要請

最終報告を取りまとめ

議会改革のスタートです



委員長 佐藤 千幸

昨令和7年3月に設置された特別委員会も、今月6月議会への最終報告をもって任務を終えました。

金ケ崎町議会の進むべき方向、持続的な議会活動について議論を進めてきました。将来の議会を見据え、議員16人の強い思いを集約したのが「議会基本条例」であります。

この基本条例のもとに、「適正な議員報酬」及び「議会機能を発揮できる議員定数」について検討を重ねてきました。議員間の活発な議論はもとより、町民の皆さんとも向き合いながら様々なご意見をいただきより良い方向を追い求めてきました。

最終報告書は、議会の構造改革スタート地点への導きであります。議会基本条例の理念のもと、町民の期待に応え、信頼され、開かれた議会を目指して進んでまいります。

今後のスケジュール

本報告書の提出以降、令和9年4月1日施行までの主な工程は、次のとおりです。

●令和8年6月定例会
町長へ報告書送付

●令和8年7月・10月
特別職報酬等審議会への諮問、同審議会での審議 答申

●令和8年12月定例会
議員発議

●令和9年4月1日
金ケ崎町議会基本条例の制定（町長提案）

●令和9年4月1日
議員報酬に関連する条例の改正

※最終報告書及びパブリックコメント実施結果の公表について

金ケ崎町議会議員報酬等検討特別委員会は、最終報告書の全文、それからお寄せいただいたご意見の概要と、それに対する議会（同委員会）の考え方を、パブリックコメント実施結果に記載しています。

詳しくはこちらまで



新たな一歩

3月17日、六原幼稚園卒園式。5人の子どもたちが迎えた卒園の日。少人数だからこそ、一人ひとりの成長を身近で感じることができました。入園当初の小さな背中が、今では頼もしく輝いています。3年間で育んだ優しさと自信を胸に。新たな一歩を応援したい。（由）

議会トピックス③

忘れられない3月11日

3月11日、岩手県東日本大震災津波追悼式が岩手県民会館で開催されました。県立金石高校2年森 真心さんの「震災は瞬時に多くの尊い命や日常を奪いました。しかしそれと同時に、人と人とのつながりやたくさんの教訓を私たちに残しました。失われた日常を胸に、私たちはこの出来事を決して忘れない。そして同じ悲しみをもう二度と繰り返さないために記憶を受け継ぎ、次の世代に繋いでいきます。（未来へのメッセージより抜粋）」に心打たれました。（雅）

議会トピックス④

介護現場

介護人材を守るための取り組みは 町長 — 事業計画の見直しの中で検討

議員の胸の内

利用者の安全安心はもちろん、介護職員が安心して働ける環境づくりが重要だ。



人をまもる介護政策へ

問 町内の介護施設における職員配置の現状をどのように把握しているのか。
町長 町が指定権限のある13か所の事業所については届け出により把握している。
問 介護職員の離職の傾向の現状認識と課題は。
町長 町の実地指導の項目には入っていないため、直接相談があった場合のみ把握。職場の人間関係が離職理由として多い。
問 職員のメンタルヘルスやストレス対策、相談体制の整備等については。
町長 各法人で取り組んでいる。ハラスメントや過重労働の相談があった場合は労働基準監督署への相談を案内することになる。
問 問題が深刻化する前に改善に向けた事業所との意見交換や状況の把握は

どの取り組みは。
保健福祉センター事務局長 3年に1回の実地指導で確認。改善策についても話し合いながら取り組んでいる。
問 介護人材を守るための取り組みは。
町長 今年度策定の10期介護保険事業計画の見直しの中で検討を進めていく。
ペアレントトレーニング 発達に特性のある子どもへの関わりに悩む保護者を対象に行われるプログラムのペアレントトレーニングの実施状況は。
町長 岩手県立療育センターの協力のもと年5回子育て相談を開催。保護者に寄り添いながら伴走支援を行っていることから実施していない。



話してみよう!!

意見交換会 4月6日から14日にかけて、町内6地区生涯教育センターで住民意見交換会が開催されました。100人を超える町民の方々より、様々なお意見を賜りました。議会が主催する意見交換会はしばらくぶり「こまめに開催してほしい」との要望も。それを義務づける条例がまもなく制定されます。(宗)

施政方針

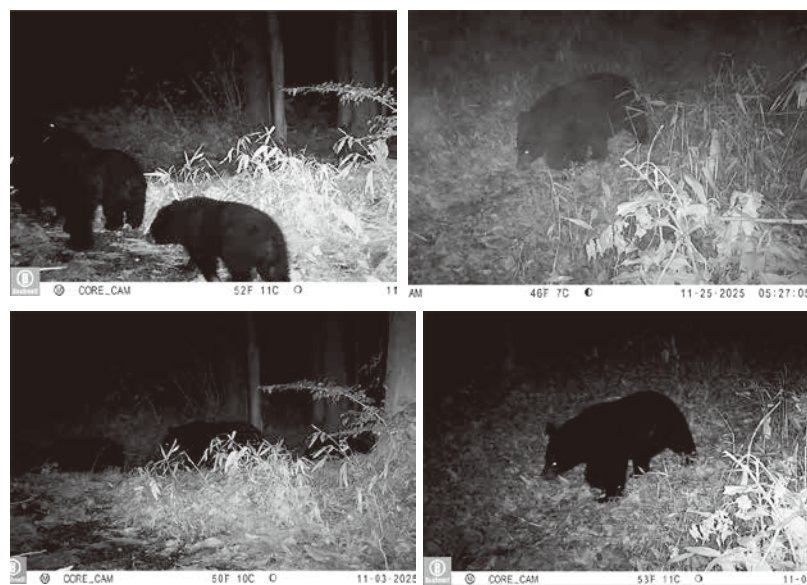
次期町総合計画の策定期間は 町長 — 8月末に素案公表

対話型町政

問 町長は、「町政運営の指針となる次期町総合計画を今年度策定し、施策を着実に実行していく」と述べた。策定期間は。
町長 総合計画は、将来の目指すべき姿を示す町の最上位計画である。町民アンケート分析及び内部協議、学識経験者や各種団体代表者等で構成する「総合計画審議会」での審議を経て8月末を目途に素案を公表する。その後、パブリックコメント等で町民の意見を募り、審議会で最終的な調整を行う。審議会から答申をいただき年度内の策定を目指す。関係条例の改正案を提案する。

問 町長は、「対話型町政による行政運営を基本姿勢とする」と述べた。町民が自由に参加できる以前のような「生活圏毎の町民懇談会の復活を」という声があるが。
町長 町民懇談会は、町民と行政が直接対話し、町の施策や地域課題、要望を共有する重要な機会であり、春と秋の年2回開催を予定する。町民が参加しやすい方法を検討する。自治会や各種団体及び企業との座談会や意見交換も行う。

クマ対策
問 町長は「町民会との連携を密にし、捕獲活動を積極的に進めていく。クマの動向調査を行い、効果的な捕獲活動ができるよう対応していく」と述べた。県内では今年度も人身被害が発生している。動向調査方法はどうか。電気柵設置補助制度はどうか。
町長 クマ動向調査の定点カメラは10台程度設置する。電気柵設置経費は2分の1補助、上限は個人農家10万円、集落営農組織25万円である。



町設置定点カメラが撮影したクマ

農業用水不足対策
問 町長は、農業用水不足対策を掲げた。具体的な対応は。
町長 当面は、各土地改良区を通じ無駄な水の流出防止、取水調整、水路等の適切な維持管理について周知・徹底するよう依頼している。長期的には、新たな水源確保やため池等の既存施設の有効活用を図る。

議員の胸の内

次期総合計画策定にあたり、「未来創成推進本部会議」のもとに分科会を設け町職員が自ら取り組んでいる。希望に満ちた計画案ができると期待している。



阿部 隆一 議員

ひとくちメモ

令和7年度ツキノワグマ動向調査業務報告書
町内のツキノワグマの頻出地点において、ツキノワグマの移動経路等の調査結果を、人里への出没を防止する対策の構築に繋げることを目的として町HPに掲載しています。

屋内全天候型遊び場

問 町長は、「子どもたちの健やかな成長の場となる屋内全天候型遊び場の誘致に迅速に取り組んでいく」と述べた。町として整備しはどうか。
町長 「みどりの郷」への民間事業者の参入を最優先に検討すべきと考えている。町としての整備は、財政負担などから難しい。

ひとくちメモ

トークフォークダンス
参加者が向かい合って短時間の対話を繰り返して、多様な人と交流しながら考えや思いを共有する対話手法です。コミュニケーション能力の向上や相互理解の促進、多様な価値観に触れる機会づくりとして活用されています。

移住定住施策

空き家・空き店舗の活用を

町長 — 情報発信力の向上を図る

議員の胸の内

新しい制度を作るよりも、今ある制度を重層的に使う柔軟でスピード感のある対応を。



町の中心部に賑わいを取り戻すには

問 空き家活用補助金が移住定住に結びついていないのか、町としてどのように分析しているか。

町長 空き家活用補助金の実績は令和6年度は5件、令和7年度は1件となっており、空き家を有効活用した移住推進として一定の効果があつたと考えている。

問 空き店舗活用補助金の活用状況は。

町長 制度開始からこれまでに5件の活用実績があり、そのうちUターンを含む町外からの移住者による活用は3件であつた。

問 改装支援だけでなく、地域の賑わいや定住にどのようにつなげていくのか。

町長 創業時における事業計画の策定支援やフーローアップの伴走支援を町商工会と連携して行っている。

問 令和7年度は6件と過去最高の創業実績となつた。

問 従来型の広報だけでは情報が届かない中で、情報発信を含めた今後の施策は。

町長 若年者や移住者といったターゲット層に対し、SNSをはじめとするデジタルメディアを活用した情報発信の手法、運用体制について関係課と緊密に連携し検討を進める。

問 町内の歴史ある伝統文化に支援が可能か。また、コロナ禍以降観光入込み数が減少する中、年間観光客数の具体的な目標はあるか。

町長 郷土芸能発表大会や永岡蘇民祭への協賛、協力をする中で、伝統文化



交流の力を実感 4月11日、金ヶ崎町国際交流協会の令和8年度定期総会が開催されました。初めて議長代理として出席、緊張の中で祝辞を代読。個人会員数は62人と想像以上に多く、出前講座や交流・支援事業など活動の幅広さに驚かされました。英語に関心があるものの、一歩踏み出す勇気が……。 (典)

自治会

運営のサポートは

町長 — 窓口は中央生涯教育センター

議員の胸の内

行政は「自治会は独立した組織」として切り離して考えているが、本当にそうだろうか。

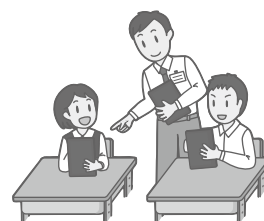


自治会で設置するゴミステーション

問 自治会の再編に関するものは、地域の意向も確認しながら対応していく。相談窓口は、中央生涯教育センターである。

問 デジタル化による教員の働き方の変化はどうか。

町長 令和8年度から若手県下の小中学校では県下統一の校務支援システムが順次導入され、これまで自治体をまたいだ教員の人事異動があつた場合、それぞれの自治体のシステムに対応する負担が大きかつたものの、システム理解等の負担が大きく減つた。授業そのものがパソコンやインターネットの活用が前提となっており、教科書、資料だけでなくインターネットを使



って調べる授業へと変わってきている。

問 デジタル化によって教員の大きな負担となっていることは何か。

町長 教員の年代あるいはデジタルの得意不得意による戸惑いや負担感はある程度ある。一方で、児童生徒の欠席連絡をオンラインで受けることにより、特に忙しい朝の時間帯において電話対応の負担が大幅に軽減されている。

たいら しの 平 志乃 議員

ひとくちメモ

自治会

○ 自主的に結成・運営する任意の住民組織。
○ 法律で加入が義務づけられておらず、住民の任意参加組織。

お友達何人できるかな 4月8日、金ヶ崎小学校の入学式が行われました。今年も67人のピッカピカの1年生が入学されました。おどおどしている子や元気いっぱいの子までいて、この6年でどう成長されるか楽しみです。(権)

駅西口開発

開発の内容は 町長 — 情報発信の拠点へ

議員の胸の内

停滞気味の町
の状況を何とか
したい。



おい かわ けん いち
及川 権一 議員

ひとくち
メモ

道の駅
道路交通の円滑な流れを支えるた
めの休憩施設と地域の文化・歴史・名
所・特産物の情報を活用し、サービス
を提供することができる施設。

問 新規で介護施設に勤務する方には介護職員就職支援助成金として支援しているが、継続性・定着率はいかがか。さらに、少子化の中で努力している保育施設・幼児教育施設職員について継続的な支援を検討するべきではないか。

町長 介護職員は町民が直面している課題に迅速に対応すること。「長期的」は10年、20年先を見据えた対策と位置づけた。

問 金ヶ崎駅西口の開発で、どのような施設を中心に据えるのか。

町長 駅西口を町の情報発信の拠点として、これまで町になかった商業施設を中心に据えたい。国庫補助事業等の活用が必要になるとの認識の中、一つの案として道の駅整備にかかる補助事業が活用できるのではないかと考える。

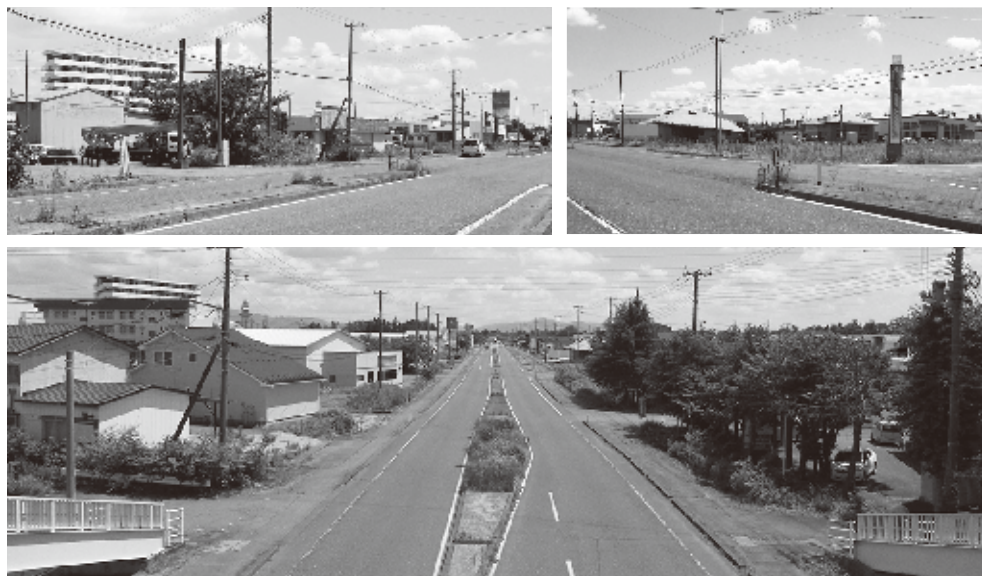
町長 介護職員の定着率は直近5年間で、71・6%となっている。現在の補助金の継続と今年度策定の第10期介護保険事業計画の見直しの中で、検討を進める。

問 継続的支援として住民税の減額等を検討するべきではないか。

町長 その職種のみ減免は考えていない。

町長 介護職員の定着率は直近5年間で、71・6%となっている。現在の補助金の継続と今年度策定の第10期介護保険事業計画の見直しの中で、検討を進める。

警長 保育施設・幼児教育施設職員の待遇については保育士就職支援助成金や保育士奨学金返還補助金の交付による待遇改善に努めてきた。今後も継続して補助金の交付を行うことで、支援していきたいと考えている。



ここが情報拠点となっていくのが楽しみです

問 「みどりの郷」の活用とこのことがコンセプトは決まったのか。

町長 現時点では決まっています。民間業者において、スケート場や屋内全天候型施設として検討している認識。

問 他市町村では定住化対策を行っているようだが、町長はどのように考えているか。

町長 みどりの郷ではスケート場が重要な施設であると考えている。そこに人が集い、それだけで活気があふれてくる。金ヶ崎駅西口開発とともに、よりよく活気あふれる町にしたい。

遊び場・体験施設の誘致

町 政

町長 — 町職員一体となって

船出にあたって

議員の胸の内

多くの課題解決
のための公約。
努力してほしい。



ち ば りょうさく
千葉 良作 議員

ひとくち
メモ

公約
公約とは、公開の場において、公衆に対して約束すること。公約を守らなくても法的な罰則や資格の剥夺などはない。
公約には「どうせ守られないもの」というイメージもついて回っている。

問 投票率が前回町長選挙に比べて7.13%低下した。前回同様の顔ぶれで人口も横ばい状態。低下した理由を何と考えるか。

町長 直前に行われた衆議院議員選挙があり、公職選挙法の規定により、2月8日まで立候補者の政治活動が著しく制限されたことが一因であったと推察される。

選挙管理委員長 新町民や旧町民別のデータはないが30歳未満で投票率が低い。啓発活動が必要と考えている。

問 「対話型のまちづくり」を強く訴えられている。町長の目指す「対話型」の公約を問う。

町長 「喫緊」は町民が直面している課題に迅速に対応すること。「長期的」は10年、20年先を見据えた対策と位置づけた。

問 「喫緊の公約」「長期的な公約」と区別して述べているが、喫緊と長期的の相違は何か。

町長 町民と直接対話する町民懇談会や町政座談会は重要な機会である。春秋の2回行う予定である。直接対話やオンラインの活用を検討していく。

とはいかなる形態で行う対話なのか。



公約の早期実現を!!

町長 児童生徒の学力向上のための公設民営の塾は、学習で取り残さない教育を実現したい。民間のノウハウを活用する。家庭の経済状況等に左右されることなく学べる機会を創出する。スタッフ、設置場所、予算所管部署は今後検討する。

問 「充実した給食実現」の公約を問う。前町長は全国に先駆けて給食費無償化を実施した。保護者の経済的負担や町の人口増加への橋渡しの考えであったと思う。新町長の「さらなる給食の充実」とはどんな構想か。

町長 児童生徒の健やかな成長を支えるために、安全・安心の確保、地元産食材の使用やリクエスト給食の増加に努めることである。



主役はダンカイ世代 4月17日、金ヶ崎町老人クラブ連合会の定期総会が開催されました。老人クラブは、高齢者の生きがいと健康作りのために、さまざまな活動を通して健全で豊かな生活を送る事を目的とする自主的に組織する団体です。基本目標は、「健康・友愛・奉仕」で地域での仲間づくりをすすめています。昨年4月から中央生涯教育センターに事務局を移転した町老連。ガンバレ！ダンカイ世代！（雅）

災害は待たない 4月27日、「防災士の会」の総会が開催されました。会員24人が出席。町防災訓練の避難所運営補助をはじめ各種団体研修への講師派遣など、活発な啓発活動に頭が下がる思いです。今や災害は忘れないうちにやってくる時代です。会の益々の発展を祈念します。（輝）

地域医療

町民に寄り添う体制維持を

町長 — 財政と医療ニーズを懸案して

議員の胸の内

本町は健診機関や運動施設などの健康資源が充実している。連携できないものか…



あべのりこ 阿部典子 議員

問 国保金ヶ崎診療所は、近い将来複数の医師が定年を迎える。診療維持にかけた検討は。

町長 現医師とも情報共有している。今後のあり方についても多方面の方と共有しながら進めていく。

問 年々、人件費・資材が高騰している。一般会計からの繰り入れと診療収入のバランスをどう分析しているか。

町長 医療機器の高額化も含め、費用負担が増額するものと捉えている。

保健福祉センター事務局長 中期財政見通しの中で、5年間の一般会計からの繰入金というところで予算計上している。令和8年度予算の繰入額は1億8800万円である。



診療所の今後の新たな歩みを見守る

ひとくちメモ

MR (医療機器…磁気共鳴画像) 磁場と電波を利用して体内の状態を詳しく画像化し、体の断面や血管などを詳しく映し出す医用画像検査のことです。脳や腹部、関節、子宮など、病変の早期発見に役立ちます。

着実な推進を

問 医科をみると今後より堅実な運営体制が求められる。住民ニーズに対応した工夫や連携が必要では。

町長 診療科やMRI、受診者の田園バスの利便性も含め検討する。

問 伝建群保存地区の現在の状況や課題をどう把握しているか。

町長 地域住民の理解と協力により景観維持されていると捉える。江戸時代から続く町並みを保存していくため、地域と話し合いをしながら進めたい。

問 地域との連携を図る話し合いはいつから始めるのか。

町長 昨年度は話し合いが不足していた。今年度はスピード感を持って定期的

安全確保

問 令和8年5月の磐越道部活バス事故を受け、安全確保の周知徹底通知が県内全ての学校に通知された。本町での対応は。

町長 安全確保については、学校ごとに「学校危機管理マニュアル」を定めている。今後も事故の防止や適切な対応に努める。

懇親会は必要 5月11日、第49回金ヶ崎町観光協会通常総会が星萬にて行われました。36人の本人出席があり、その後の懇親会では金ヶ崎駅西口開発の話題やらで盛り上がりしました。やはり情報を得る懇親の場は必要であり、大変有意義な場でした。(権)

家畜伝染病

議員の胸の内

令和2年度以降、全国的に大規模な発生を繰り返し、養鶏業界に甚大な被害を生じさせている。食の安全供給のためにも、迅速な防疫作業と情報提供どちらも重要。



さかきあきみつ 榊秋光 議員

町の対応と体制整備を

町長 — 周知は最優先、県と連携

住民への周知は最優先事項

令和8年2月21日現在

高病原性鳥インフルエンザ消毒ポイント

① 消毒ポイントの設置場所

番号	名称	住所
1	金ヶ崎公園	金ヶ崎町金ヶ崎公園
2	金ヶ崎公園(旧金ヶ崎町立金ヶ崎小学校)	金ヶ崎町金ヶ崎公園
3	金ヶ崎公園(旧金ヶ崎町立金ヶ崎小学校)	金ヶ崎町金ヶ崎公園

② 消毒ポイントの設置方法

③ 消毒ポイントの設置方法

④ 消毒ポイントの設置方法

問 住民説明会の必要性について、県と町の間で、初期段階で協議は行われたか。今後の協議のあり方は。

町長 防疫措置開始前に県が主催となり、状況確認と対応計画の協議を目的とした奥州地方支部緊急連絡会議が開催された。その中で町から県に対し、住民説明会の確認を行っている。町に対し住民説明会を含む住民からの相談があった場合は、県が対応を判断するとの回答であった。この段階では説明会の開催は予定していない。今後の協議のあり方については、県と今回の課題を共有し、改善を踏まえ協議を行っていく。

問 町の対策本部で、住民への情報提供や説明会の必要性は取り上げられたか。

町長 インフルエンザ対応マニュアルでは、住民説明会を開催することを想定している。このことから、町の対策本部でも説明会の開催と住民への周知を議題に取り上げ、2月23日の説明会の開催と25日に町内全戸を対象に防疫周知のチラシを配布した。

問 地下水の利用家庭に対する水質検査の必要性の判断と実施する場合の期間・費用負担等についてどう考えているか。

町長 県の発生時対応要領に従い県主体で水質検査を実施することから住民の費用負担はない。防疫措置完了から約6か月後まで4回実施し、pH値の数値を

問 地下水の利用家庭に対する水質検査の必要性の判断と実施する場合の期間・費用負担等についてどう考えているか。

町長 県の発生時対応要領に従い県主体で水質検査を実施することから住民の費用負担はない。防疫措置完了から約6か月後まで4回実施し、pH値の数値を

仲間との絆 5月8日、金ヶ崎中学校体育祭。仲間と声を掛け合いながら全力で駆け抜ける生徒たち。競技に挑む真剣な表情、仲間を応援する大きな声援がグラウンドに響き渡った。一人ひとりが力を出し切り、仲間との絆を深める姿に、中学生らしい躍動感と成長を感じる体育祭となりました。(由)



クロスワードパズル

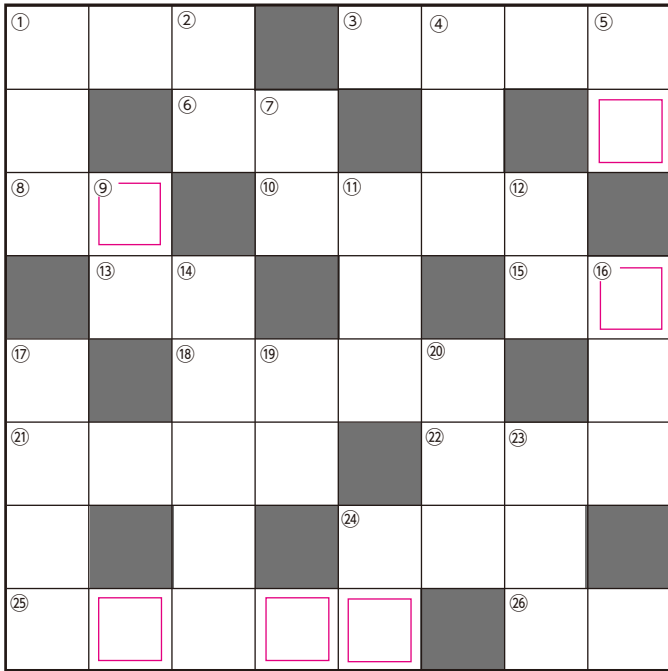
□の6文字を並べかえると、答えになります。

ヒント：元気で威勢がいいですね



■ヨコのカギ

- ① 今不足で問題となっているあの原料
- ③ 東京都の区の一つ
- ⑥ 最近よく出沒する
- ⑧ 金ヶ崎も無人に
- ⑩ 高温の蒸気といえば
- ⑬ 寿司屋で見かける高いやつ
- ⑮ 日経平均株価とかTOPIXとか
- ⑰ いつも同じ服を着ている状態や人のこと
- ⑲ 木の幹に穴を空ける鳥と云えば
- ⑳ 物事を成し遂げようとして努力を重ねること
- ㉒ 激励で思い浮かぶ四字熟語といえば
- ㉔ 博多といえば
- ㉖ 人情といえば



こたえ

Answer line for the crossword puzzle.

■タテのカギ

- ① 人や場所などを他と区別するために付けられた呼び名
- ② 熊や泥棒から守るのに有効です
- ④ これが弾けるとモテルかも
- ⑤ 猫の毛色のひとつ
- ⑦ サケ科の魚
- ⑨ 町の鳥に似ている鳥
- ⑪ 議員は皆、大事にしています
- ⑫ これを無くすことが効率化につながります
- ⑭ 花言葉は「幸福の花」アヤメ科アヤメ属の植物
- ⑯ ソバとならんで日本人の好きな食べ物
- ⑰ 最後まで〇〇〇〇ないで
- ⑲ 修行でよく行くところ
- ㉒ こねる人けこういます
- ㉔ グンゼとか
- ㉖ お相撲さんといったら

(出題:パッチ組)

★正解者の中から、抽選で5人の方に図書カードをプレゼントいたします！

前号の答え

カンゼンネンショウ(完全燃焼)



議会だより158号掲載のクイズに、たくさんのご応募ありがとうございました。厳正なる抽選のうえ、5人の方に図書カード(1,000円分)をお送りしました。



読者の声 (抜粋)

◆旧二ツ森小学校も後々解体されるのでしょうか、その後はただ放置されるのではなく、何らかの利用方法を考えていただけたらいいと思います。(60代女性)

◆私も義母も孫も花粉症です。町内に耳鼻咽喉科があったらなあ…近所のすぐ近く高くなった杉の木も気がかりです!! (60代女性)

◆通園・通学バス予算賛成の記事に目が留まりました。教育環境改善は、未来に希望をつなぐ大事なことです。今後も期待しております。(50代男性)

◆空き家の放置が目立つように思います。草木が伸び放題になり、害虫発生による近隣の迷惑や火災の延焼を招くのではないかと心配です。町でできる対策を願っています。(60代女性)

応募方法 いずれかの方法でご応募ください。

- はがき → 〒029-4592 岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根南町22番地1 金ヶ崎町役場 議会事務局
- FAX → 0197-42-2103
- メール → gikai@town.kanegasaki.iwate.jp

★応募内容

- ①クイズのこたえ
- ②郵便番号・住所
- ③氏名・年齢・性別
- ④電話番号
- ⑤「議会だより」についての感想・ご意見

ぜひ お願いします

★応募締切 令和8年8月20日(木)到着分
★正解発表 議会だより160号に掲載

プレゼントの発送は令和8年10月予定。直送いたします。
応募時に頂きました個人情報等は、厳正な管理下におきまして
⑤の取りまとめと賞品の発送のみに利用させていただきます。

※

※所管事務調査とは 常任委員会が、その部門に属する当該地方公共団体事務を調査しています。

所管事務調査を実施します

7/1

産業建設常任委員会

〈調査事項〉

- ・岩手中部工業団地北側エリアにおける企業誘致の進捗状況
- ・三ヶ尻地区圃場整備事業の進捗状況
- ・町道野田・前野線整備の進捗状況
- ・クマ対策に係る電気柵設置状況

委員長 佐藤 千幸
副委員長 阿部 隆一
委員 千葉 良作 千田 眞一
平 志乃 原 由美子
菅原 政憲

総務教育民生常任委員会

7/23

〈調査事項〉

- ・六原幼稚園及び認定こども園南方幼稚園の現状
- ・旧二ツ森小学校跡地の管理状況及び今後の対応
- ・防災無線の運用状況

委員長 阿部 典子
副委員長 阿部 一之
委員 高橋 美輝夫 山路 正悟
高橋 藤宗 後藤 紳一
及川 権一 榊 秋光

ゆたかな学びの実現を 国に意見書提出

付託年月日	令和8年6月3日
件名	請願第2号 ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための2027年度政府予算に係る意見書採択を求める請願書
請願者	一関市山田字中野130 岩手県教職員組合県南支部 支部長 佐々木 昭仁
審査の結果	採択すべきものと決定
委員会の意見	請願趣旨相当と認める

- 子どもたちの学びを保障するためには、教職員の負担軽減と教育環境の充実が必要であり、定数改善や教育予算の確保を求めるものである。
1. 国においては、学級編制標準のさらなる引き下げや、少人数学級について検討すること。
 2. 学校の働き方改革・長時間労働是正を実現するため、加配教職員の増員や少数職種の配置増など、教職員定数改善を推進すること。
 3. 自治体で国の標準を下回る「学級編制基準の弾力的運用」の実施ができるよう、加配の削減は行わないこと。
 4. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、地方財政を確保した上で義務教育費国庫制度の負担割合を引き上げること。

賛否が分かれた議案

○：賛成 ×：反対 欠：欠席
※議長は採決に加わりません

議案名	審議の結果	菅原 政憲	榊 秋光	原 由美子	阿部 一之	平 志乃	及川 権一	千田 眞一	後藤 紳一	高橋 藤宗	阿部 典子	千葉 良作	阿部 隆一	佐藤 千幸	山路 正悟	高橋 美輝夫	伊藤 雅章
発議案第1号 ゆたかな学びの実現・教職員定数改善をはかるための2027年度政府予算に係る意見書提出について	原案に対し 可決	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※



副主幹 高橋 穰

令和8年4月1日付で、生活環境課より着任しました。

議会事務局 職員の人事異動

第4項目の義務教育費国庫負担制度の負担割合引き上げについては慎重な議論が必要である。一方、少人数学級の推進や教職員定数の改善、地域の実情に応じた学級編制は教育環境の向上につながるものである。以上を総合的に判断し、本請願の採択に賛成する。



原 由美子 議員

賛成

討論



支え合える場づくりを

よ ば かい
四つ葉のクローバーの会

あわ の ゆ み
会長 栗野友美さん

(永岡地区)

金ケ崎町で活動する「四つ葉のクローバーの会」は、発達に特性や凸凹のある子どもを育てる保護者が中心となって運営する親子サークルです。保護者同士が悩みや経験を共有し、情報交換や交流を通じて支え合える場づくりを目指しています。

毎年4月の世界自閉症啓発デーおよび発達障がい啓発週間に合わせ、金ケ崎町の協力のもと役場庁舎のブルーライトアップや展示活動などを実施し、発達障がいへの理解促進に取り組んでいます。また、ママのしゃべり場等の交流イベントも他の子育てサークルとともにを行っています。

専門機関や学校とは異なる立場から、保護者同士だからこそ分り合える身近な相談相手として、地域のつながりを大切に活動を続けています。発達に関する悩みや不安を抱える保護者が孤立することなく、安心して交流できる場にしていきたいです。

活動に関心のある方や参加を希望される方は、お気軽にお問い合わせください。地域全体で子どもたちの成長を見守り支えるサークルになっていけたらと思っています。

※問い合わせ先：子育て支援センターまで (TEL 44-3365)



役場庁舎内での展示活動



サークルで楽しく情報交換

表紙の写真によせて

*ご両親からのメッセージ

2人の関係は、夜まで話が盛り上がる親友のようであり、テストの点数を競い合うライバル。時には宿題を教えてあげるお兄ちゃんに見えるときもあります。

そんな2人に「お互いは、どんな存在なの?」と聞いてみると、「なんかいる人」という面白い答えが返ってきて、本当に空気みたいに一緒にいるのが当たり前なんだなと感じました。

今は、2歳上の兄の影響で始めたソフトテニス頑張っています。

私たちは、いつでも3人の一番の応援団です。どんな時も精一杯応援するから、これからも様々なことに本気で挑戦してほしいと思っています。

(高橋成典 章菜)

*みくんなイイ笑顔で撮影も順調!

今号の表紙は、街地区の高橋風音さんと咲音さんです。前回は金ケ崎小学校に入学したばかりでしたが、お兄ちゃんの絢音さんと同じ金ケ崎中学校の1年生になり、3人でソフトテニスを頑張っているとのことでした。

撮影場所の金ケ崎駅に来ていただいた時は、ご両親の若さに驚き、まるで5人兄弟のように見えました。

(写真担当 及川 権一)



なげと 風音さん あやと 絢音さん さきと 咲音さん

自宅の近くの金ケ崎駅は小さい頃から電車を見たり、広場を走り回ったりと今でも最高の場所になっています。

編集後記

議員1期目、3年目にして広報常任委員会委員長という大役を担うこととなりました。経験の少なさを言い訳にせず、学びながら前向きに、楽しくより良い広報紙づくりに取り組んでまいります。

(原 由美子)

今期から委員長を離れ、副委員長として委員長を支える立場となりました。顔ぶれも少し変わり、新たな発想や視点が加わることを楽しみにしています。チームワークを大切に、より良い広報紙づくりに努めてまいります。

(阿部 典子)

議会広報常任委員会

私たちが編集しました

議長 伊藤 雅章 (発行責任者)

委員長 原 由美子 (統括・所管事務調査他)

副委員長 阿部 典子 (一般質問)

委員 千葉 良作 (一般質問)

高橋 藤宗 (報酬特別委員会報告)

及川 権一 (写真・他)

阿部 一之 (新市長施政方針・他)

榊 秋光 (所管事務調査・他)

次号のお知らせ

次号(第160号)は、令和8年10月発行予定です。内容は、9月議会定例会の議論を中心に伝えています。



議会だより かねがさき
第159号

発行/岩手県金ケ崎町議会
編集/議会広報常任委員会
印刷/(有)北胆印刷

住所/〒029-4592 岩手県胆沢郡金ケ崎町西根南町22-1
TEL 0197(42)2111 FAX 0197(42)2103
ホームページアドレス <https://www.town.kanegasaki.iwate.jp/gikai/>